

(第 80 回) KS クラブ議事メモ			
開催日	2018 年 3 月 22 日 (木)	出席者 敬称略	西村二郎、坂下勲、山崎博、持田典秋、猪股勲、宮本公明、神田稔久 (文責) ゲスト：大谷宏氏
時間	15:00~17:00		
場所	かながわ県民センター		
資料	和災論 (坂下勲)		
議題	<p>1 技術課題</p> <p>和災論</p> <p>安全を日本語で考え、表記・記録し、伝える「災害防止論」である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動機は、日本人には、リスクの考え方が合わないのではないか？ リスクの考え方が浸透していないのではないか？ というものがあった。 ・ 作成したテーブルは、災害全てを見るためのものとなっている。 ・ 実際には、テーブルは層構造となっていて、様々な切り口 (例えば高齢者等) で考えることが出来る。 ・ 隠れ危険源について、「身の隠れ危険源を見つけよう」(和災論 8) の中の、大豆に起因する事故 (自然発火と粉塵爆発) が紹介した。 <p>発表者からのコメント</p> <p>参加者からのコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我々シニアは高齢化に伴うリスクに直面しています。免疫力が衰え病気に罹りやすくなり、運動神経の衰えからつまずき易く、転んで骨折するリスクが増加します。医者にかかる機会が増えて経済的な負担も増加してきます。薬の数が増えると薬の副作用も心配です。最も注意すべきは死亡率の高い肺炎と、寝たきりになる骨折でしょう。高齢者は交通事故に遭う確率も増えますが、自らも自動車のブレーキとアクセルを踏み間違えて人身事故を起こすリスクもないとは言えません。老老介護、介護施設での虐待問題。特に深刻なのは認知症による徘徊と事故を起こした時の監督責任を家族が問われる事態です。高齢者を狙ったオレオレ詐欺も減っていません。地震や洪水などの災害に対しても高齢者は逃げ遅れて被害に遭う事例が多くなっています。こう考えると、我々シニアは、高齢化に伴うリスクの海を泳いでいます。とはいえ、心配ばかりしては始まりません。元気なシニアはたくさんいます。基本的には食事と運動を楽しみ、睡眠に心がけ、健康寿命をどのようにして伸ばすかが重要です。新しいことにも興味を持ち、SCE・Net のような知的なコミュニティに参加し活動することは、シニアライフの良い処方箋になると思います。(山崎) <p>坂下さんの和災論は、非常にユニークな発想で挑戦的な試みだと思いました。ただ、全体を俯瞰してみた場合、概念としては合理的・説得的であっても、ミクロに下りていくと齟齬が出てきたり、明確にならない事象などが出てきたりして、なかなか悩ましい側面もあるようにお見受けしました。尚、坂下さんが中心的なテーマとして取り扱っておられたわけではないですが、私は、普通の日本人の多く (時には、大学教授と言われる人でさえ) 安全と安心の考えをごちゃごちゃにしていることが気になっています。一般に「安全なら安心」といっても良いでしょうが、「安心ならば安全」と誤解している人が多いように思います。「原子力安全神話」と言うのは、正確には「原子力安心神話」であり、必ずしも安全でないものを安全だから安心と言って人々に安心感を吹き込み、いつの間にか、多くの人に「安心なのだから安全なのだろう」と思い込ませてしまった悪質な詐欺師的行為だったように思います。(大谷)</p>		

	<p>災害を災害源と容器に分け、問題は、容器の破損やつなぎ目の欠損であるとした視点が斬新であった。通常の災害以外のトラブルについてもこのような見方をすることで健全な容器の持つべき特性が分かると面白いと思いました。(宮本)</p> <p>坂下さんの発想は、非常にユニークです。確かに、このように説明されると初めての人たちにも理解し易いかも知れません。 ただ、和災論の言う言葉はあまりなじみません。安全ということ自体も、リスク管理としたほうが分かるような気がします。(持田)</p> <p>2. 幹事会報告 2月幹事会報告 環境経営研究会が環境研究会に再統合される。 二十周年記念事業は、ネット会議構築と記念出版に絞り込まれ、予算総額も50万円と縮小された。 役員交代 神奈川研究会担当幹事：宮本氏 世話人：神田氏</p> <p>3. 5月の見学会 神奈川研究会以外の会員の参加希望が少ないので、再度全員メールで呼びかけを行う。</p> <p>4. 今後の予定 6月12日 小林氏 7月10日 持田氏 8月14日 神田氏 9月11日 松村氏 10月9日 JALグループ安全啓発センター見学 11月13日 山崎氏 12月11日 猪股氏</p>
次回日程	<p>2018年4月10日(木) 15:00-17:00</p> <p>1. 技術課題 大谷氏 2. その他</p>
次々回日程	<p>2018年5月8日(木)</p> <p>1. 横浜港見学会</p>